

「^{とら}チャンスを捉え進化し、 地域の力を強くする」



コロナ禍によりこの3年間で社会は大きく変わりました。急激なデジタル化や脱炭素社会の構築です。

とても大きな変化ではありますが、私たちの地域には風力発電に最適な風や豊富なスギ資源があり、今後の産業の発展に大きな期待が持てます。

また、「白神山地」と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の自然・文化の2つの世界遺産は、インバウンドを含めた今後の「産業としての観光」を確立するために大変大きな存在となっております。

更には日本中に認められる高品質な農産物と水産資源は、国内のみならず海外への販売も視野に入ってきました。

素晴らしい可能性を現実化し、その恩恵を地域ではっきりと感じられるようにしなければなりません。そして、仕事で人が移住してくるような地域を作り、豊かで幸せを実感できる私たちの生活の場を作らなくてはなりません。

吉方せいげんは頑張ります！

政治に「保守」や「革新」などという枠組みはもはや必要ありません。良い政策を加速し、間違った方向性を正し、住民が満足できるような地域を作ることこそが大切なのだと考えます。

吉方せいげん これからもっと県議会で訴えたいこと

- コロナ禍に打ち勝ち、日常生活を取り戻す
 - 流行の波はあれども、「予防」・「検査と治療」・「後遺症対策」をしっかり行い安心できる社会の体制を作り、経済活動を復活させる。
- 人口減少による地域力の衰退防止
 - 洋上風力や大型製材工場の進出を最大限に地域の活性化に結び付け、恩恵が目に見えるようにする。
 - 同時に、石炭火力が廃止に向かう中、地域経済の大きな柱である能代火力発電所を絶対に存続させる。そのための環境に配慮した新技術の導入に秋田県もしっかりと取り組むようにする。
- 能代市山本郡の各地域に人が残ることができるようにする
 - 道路の整備や自然災害に備えた河川整備など、地域の不便や不安の解消を着実に進める。
 - 農業・林業・水産業・観光産業を元気にすることにより、市街地以外でもしっかりと暮らせるようにする。
- 人口減少下でも住みやすく、働きやすい地域を作る
 - 子育てをしやすく、男性も女性も働きやすい環境を作る。
 - 部活動の地域スポーツクラブへの移行、奨学金のあり方、高校の昼食時の外部弁当の提供など教育環境を丁寧考える。
 - 地域による医療格差を縮める。
 - 買い物・移動・介護など高齢化に対応する行政支援を拡充する。

